

京都大学薬学研究科

博士・博士後期課程への経済支援

2022年3月4日

#記載の制度及び金額は作成時点のものです

#奨学金制度が目まぐるしく変わっており、それに
伴い一部変更する場合があります。

<https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/graduate-admission/financial-support/>

2022年4月、大学院薬学研究科は 大学院をリニューアルします

京大の理念：対話を根幹とする自学自習、多様性の重視

京大は世界最先端の研究大学であることを社会から期待されている

社会の発展、健康増進には「博士人財」が不可欠

博士人財は、学界・産業界・行政・教育などで活躍が期待されている

社会における未解決の問題解決のために必要な人財だから

学生は「教わる」から「学ぶ」へ変わる

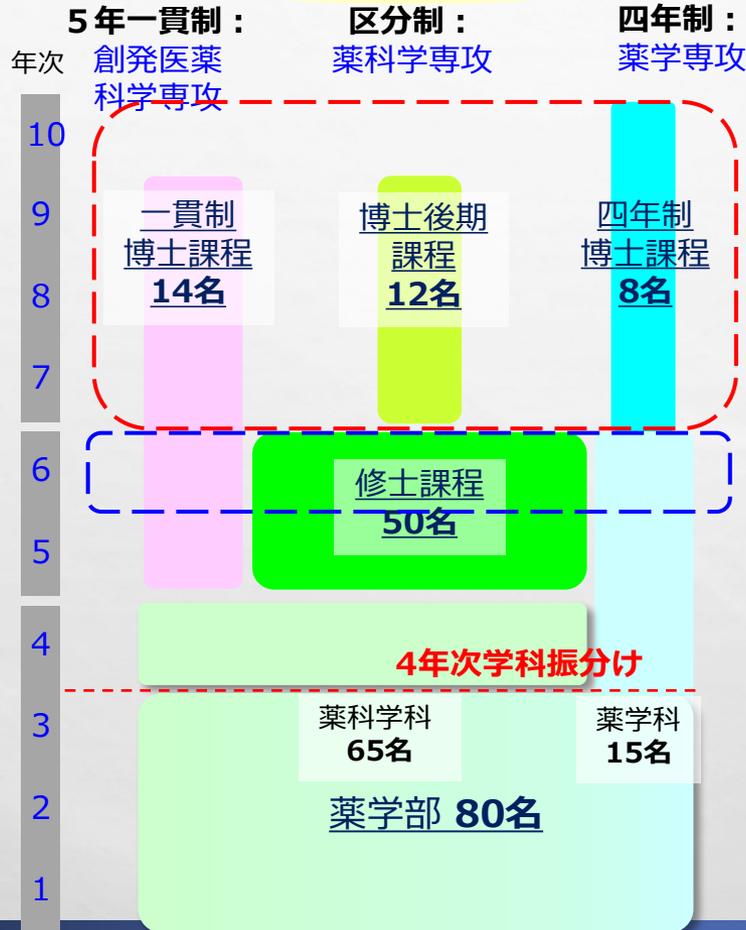
教員は「教える」から「支援する（指導・助言）」へ

アカデミア・製薬関連企業・行政・医療機関など

新領域を開拓
する先端
薬学研究人材

薬学基盤を持続
発展させる
研究・技術人材

高度医療を改革
できる研究型
博士薬剤師



本整備での主な取組

- 5年一貫制博士課程
- 質保証に基づく人材育成
- 学習者本位の学修カリキュラム
- 質の高い海外留学・共同研究実施
- 産官学での研究教育連携
- **博士進学者への経済支援**

博士課程在籍者

博士進学を決めたM2相当学生

博士後期・博士課程で受けられる経済的支援

- ・ 学術振興会特別研究員 [日本学術振興会]
- ・ 次世代大学院教育支援機構 [文科省・京都大学]
- ・ 大学フェローシップ [文科省・京都大学]
- ・ 藤多仁生奨学金 [薬学研究科独自の経済支援]
- ・ 沢井奨学金 [薬学研究科独自の経済支援]
- ・ 日本学生支援機構第一種奨学金 [JASSO]
特に優れた業績による返還免除内定
同 返還免除（修士課程も対象）
- ・ 長井記念薬学奨励 [日本薬学会]
- ・ 卓越大学院 R A ・ 民間奨学財団の奨学金・研究奨励

申請書共通

各制度とも受給者の審査や選考があります。受給条件も異なります。それぞれの募集案内を確認してください。

日本学術振興会 特別研究員

2023 (R5) 年4月から受給

- 【受給資格】 博士後期課程・博士課程進学者および在籍者
- 【研究奨励金】 20万円/月 給付
さらに研究費として約100万円/年支給（科研費申請も可）
- 【申請時期】 2022年6月2日（木） 【2023年度以降受給予定者】
- 【審査方法】 書面審査+面接審査
「研究の位置づけ」、「研究計画」、「自己評価」、「評価書」を重視

【受給対象・
期間】

区分	専攻	受給開始	受給期間
DC1	薬科学専攻	D1	3年
	薬学専攻（4年制）	D2	3年
	創発医薬科学専攻（5年一貫制）	D3	3年
DC2	薬科学・医薬創成情報科学専攻	D2, 3	1・2年
	薬学専攻（4年制）	D3, 4	1・2年
	創発医薬科学専攻（5年一貫制）	D4, 5	1・2年

詳細は日本学術振興会HPを参照 学内説明会など利用してください
3/9 16:00～ 京大内・KURAでの説明会開催（要申し込み）

日本学術振興会特別研究員 <https://www.jsps.go.jp/j-pd/>

大学院教育支援機構プログラム

2022 (R4) 年4月から受給

【受給資格】 博士後期課程・博士課程進学者（社会人入学者・国費留学生除く）、

【研究奨励金】 15万円／月 給付
さらに研究費として40万円／年支給

【受給人数】 約5名（京大全体で170名） 【2022年度以降受給予定者】

【申請時期】 2022年3月25日（金） 17時締切

【審査方法】 書面審査（指定書式あり）
「研究の位置づけ」、「研究計画」、「自己評価」を重視

【受給対象
・期間】

専攻	受給開始	受給期間
薬科学専攻	D1	3年
薬学専攻（4年制）	D1	4年
創発医薬科学専攻（5年一貫制）	D3	3年

**異分野共同研究、国際共同研究、産官学共同研究のいずれかの推進を推奨
定期的な研究進捗状況の報告が必要**

詳細は機構プログラムHPを参照 学内説明会など利用してください

3/7 10:30～ 機構プログラムがZoom説明会を開催（要申し込み）

京都大学大学院教育支援機構 <https://www.kugd.kyoto-u.ac.jp/program>

大学院教育支援機構プログラム（進学前採用枠）

M2、B6対象

2023（R5）年4月から支給

- 【受給資格】 R5.4に博士課程（一貫制の場合は3年次）に進学する者
- 【研究奨励金】 15万円／月 給付
さらに研究費として40万円／年支給
- 【受給人数】 約5名（京大全体で170名） 【2023年度以降受給予定者】
- 【申請時期】 2022年3月25日（金） 17時締切
- 【審査方法】 書面審査（指定書式あり）
「研究の位置づけ」、「研究計画」、「自己評価」を重視

【受給対象
・期間】

専攻	受給開始	受給期間
薬科学専攻	D1	3年
薬学専攻（4年制）	D1	4年
創発医薬科学専攻（5年一貫制）	D3	3年

異分野共同研究、国際共同研究、産官学共同研究のいずれかの推進を推奨

詳細は機構プログラムHPを参照 学内説明会など利用してください

3/7 10:30～ 機構プログラムがZoom説明会を開催（要申し込み）

大学フェローシップ事業

2022 (R4) 年4月から支給

【受給資格】 博士後期課程・博士課程進学者（社会人入学者・国費留学生除く）、 30歳未満（出産・育児経験者は考慮する）

【研究奨励金】 15万円/月 給付
さらに研究費として30万円/年支給

【受給人数】 2名（新D1のみ募集） 【2022年度以降受給予定者】

【申請時期】 2022年3月25日（金） 17時締切

【審査方法】 書面審査（指定書式あり）
「研究の位置づけ」、「研究計画」、「自己評価」を重視

【受給対象
・期間】

専攻	受給開始	受給期間
薬科学専攻	D1	3年
薬学専攻（4年制）	D2	3年
創発医薬科学専攻（5年一貫制）	D3	3年

**異分野共同研究、国際共同研究、産官学共同研究のいずれかの推進を推奨
定期的な研究進捗状況の報告が必要**

**詳細は機構プログラムHPを参照 学内説明会など利用してください
3/7 10:30～ 機構プログラムがZoom説明会を開催（要申し込み）**

京都大学大学院教育支援機構 <https://www.kugd.kyoto-u.ac.jp/program>

藤多仁生奨学金

2023 (R5) 年4月から支給

故藤多哲朗名誉教授のご遺志による奨学金

- 【受給資格】 博士後期課程・博士課程進学者または在籍者
- 【研究奨励金】 60万円／年 給付
条件を満たせば他の給付型奨学金との併給も可
- 【受給人数】 1年あたり約25名 【2023年度受給予定者】
- 【申請時期】 2022年3月25日（金） 17時締切
- 【審査方法】 書面審査（指定書式あり）
「研究の位置づけ」、「研究計画」、「自己評価」を重視

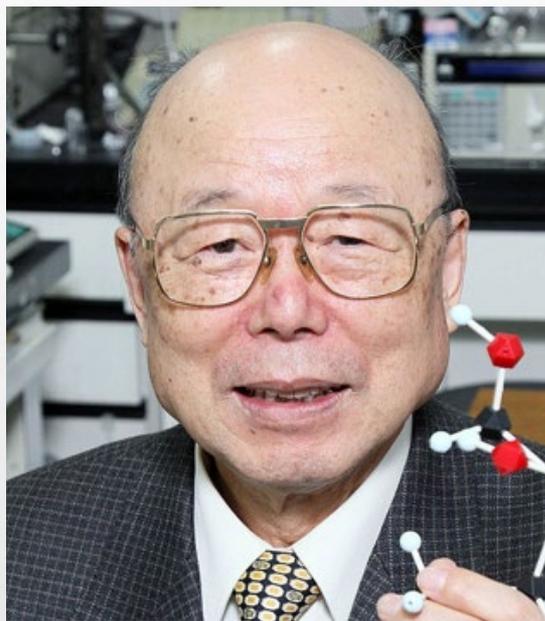
【受給対象
・期間】

専攻	受給開始	受給期間
薬科学・医薬創成情報科学専攻	D1~3	1年
薬学専攻（4年制）	D1~4	1年
創発医薬科学専攻（5年一貫制）	D3~5	1年

年1～2回程度の情報交換会の出席、学位論文への謝辞が必要

藤多仁生奨学金の由来

藤多先生の御尊父が岡崎で経営していた
薬局・製薬会社「藤多仁生堂」の名にちなむ



故藤多哲朗名誉教授
(1931-2017)

- 1953 京都大学薬学部卒業
- 1958 同 大学院博士課程修了
- 1959 京都府立医科大学 助手
- 1963 京都大学化学研究所 助手
- 1967 同 助教授
- 1973 徳島大学薬学部教授
- 1985 京都大学薬学部教授（薬用植物化学講座）
- 1994 定年退職 名誉教授
- その後、摂南大教授など歴任
- 2010 多発性硬化症治療薬イムセラ発売

大学発創薬での国内唯一のブロックバスター

薬を作りたいという夢を持つ
若い人材を支援したい

在りし日の藤多先生のインタビュー記事

<https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/graduate-admission/invitation/message6/>

沢井奨学金

沢井製薬社長・澤井健造氏および沢井製薬のご寄付による

- 【受給資格】 博士後期課程・博士課程進学予定者または在籍者
- 【研究奨励金】 60万円／年 給付
条件を満たせば他の給付型奨学金との併給も可
- 【受給人数】 1年あたり約8名 【2023年度受給予定者】
- 【申請時期】 2022年3月25日（金） 17時締切
- 【審査方法】 書面審査（指定書式あり）
「研究の位置づけ」、「研究計画」、「自己評価」を重視

【受給対象
・期間】

専攻	受給開始	受給期間
薬科学・医薬創成情報科学専攻	D1~3	1年
薬学専攻（4年制）	D1~4	1年
創発医薬科学専攻（5年一貫制）	D3~5	1年

年1～2回程度の情報交換会の出席、学位論文への謝辞が必要

ジュニア藤多仁生奨学金（案）

2022（R4）年後期に支給

故藤多哲朗名誉教授のご遺志による奨学金

【受給資格】 博士後期課程・博士課程に進学を決めた修士2年次相当学生

【研究奨励金】 15～50万円／年 給付（変更する可能性があります）
条件を満たせば他の給付型奨学金との併給も可

【受給人数】 1年あたり約10名 【2022年度受給予定者】

【申請時期】 2022年3月25日（金） 17時締切

【審査方法】 書面審査（指定書式あり）
「研究の位置づけ」、「研究計画」、「自己評価」を重視

【受給対象
・期間】

専攻	受給開始	受給期間
薬科学専攻	M2	1年
薬学部薬学科（薬学専攻進学）	B6	1年
創発医薬科学専攻（5年一貫制）	D2	1年

年1回程度の情報交換会の出席、学位論文への謝辞が必要

日本学生支援機構第一種奨学金返還免除内定

2023 (R5) 年3月に決定

- 【受給資格】 博士後期・博士課程進学者のうち、上記貸与型奨学金受給者条件を満たせば他の奨学金との併給可。
- 【奨学金額】 8万円もしくは12.2万円/月 貸与
成績優秀者に、返還免除（全免/半免）の内定を推薦する制度
- 【申請時期】 2022年3月25日（金） 17時締切（申請書）、
2月頃（業績書類）
- 【審査方法】 書面審査（指定書式あり）
「研究の位置づけ」、「研究計画」、「自己評価」を重視
業績書類では、D1年次での論文、発表などの研究業績を評価

【受給対象
・期間】

専攻	受給開始	受給期間
薬科学専攻	D1	3年
薬学専攻（4年制）	D1	4年
創発医薬科学専攻（5年一貫制）	D3	3年

日本学生支援機構返還免除内定制度

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/taiyochu/gyosekimenjyo/naitei.html>

日本学生支援機構第一種奨学金返還免除（修士課程もあり）

修了年の3月までに決定

- 【受給資格】 博士後期・博士課程進学者のうち、上記貸与型奨学金受給者条件を満たせば他の奨学金との併給可。
- 【奨学金額】 博士：8万円もしくは12.2万円／月 貸与
修士：5万円もしくは8.8万円／月 貸与 の免除制度
課程修了時に、課程での成績優秀者を対象に返還免除（全免／半免）を支援機構に推薦する制度
- 【申請時期】 修了時の2月頃（業績書類）
- 【審査方法】 書面審査（業績書類）
業績書類では、**課程在籍時の論文、発表などの研究業績**を評価

詳細は、日本学生支援機構HPを参照

日本学生支援機構返還免除制度

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/taiyochu/gyosekimenjyo/index.html>

その他の経済支援・奨学金制度

本学関係

- ・薬学研究科ティーチングアシスタント（年10～30万円程度）
- ・京都大学卓越大学院・メディカルイノベーションプログラム
リサーチアシスタント（月12万円程度）
- ・CFプロジェクト奨学金 <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news/2021-10-12> 11月初旬締切

民間財団など

- ・長井記念薬学奨励（日本薬学会・年60万円）
- ・吉田育英会ドクター21（月20万円給付 1年間）
- ・本庄国際奨学財団（月15～20万円給付 1～5年間）
- ・山田長満奨学金（月12万円給付）
- ・サントリー生命科学財団（月6万円給付） など

その他、下記HP参照

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/syogaku/syogakum>（京都大学奨学金情報）

<https://xn--kus49bd41h.net/archives/67540341.html>（奨学金net）

企業奨学金

長井記念薬学研究奨励（日本薬学会）

- 【受給資格】 博士後期課程・博士課程進学者または在籍者
- 【研究奨励金】 60万円／年 給付（名目上、条件付貸与）
条件を満たせば他の給付型奨学金との併給も可
- 【受給人数】 約1名／年
- 【申請時期】 前年の10月頃
- 【審査方法】 書面審査（本奨励金の申請書）
申請書では、「薬学の将来を担うことが期待できるか」、
「研究計画を遂行できる能力と準備状況」を重視して評価
- 【受給対象・期間】 標準修了年限まで

詳細は、日本薬学会HPを参照

日本薬学会長井記念薬学研究奨励

<https://www.pharm.or.jp/award/#sec02>

薬学研究科奨学金の概要

- 博士後期・博士課程学生を経済的に支援するための給付型奨学金
- 保護者の経済的要件なし（学生支援機構除く）
- 当該年度4月より給付開始（振込の関係で少しずれこむ）
- **申込締切：3月25日（月）** 内定発表は5月頃を予定
- 申請書類は共通

受給資格（次、フェ、藤、沢）

学生支援機構奨学金免除内定は、学生支援機構の受給資格に準ずる

奨学金の受給者は、次の各号の全てに該当する者とする。

（社会人入学者・国費留学生は含まない）

- （1）薬学研究科博士後期課程（3年制）もしくは博士課程（4年制）に在籍する学生
- （2）当該年度の日本学術振興会の特別研究員（DC1、DC2）に応募した者のうち、採用されなかった者。なお、博士課程（4年制）1年次については、長井記念薬学奨励支援事業に応募した者
- （3）本学大学院の標準修業年限（休学期間を除く）を超えない者
- （4）当該課程における成績等評価において特に優秀と認められる者
- （5）他団体等から年額規定金額以上の給付型奨学金（給付前提の貸与奨学金含む）や給与を受けていない者。
- （6）その他研究科において別に定める受給資格を満たす者
- （7）大学フェローシップは30歳未満（出産・育児経験者は配慮あり）

申請書類（すべて共通）

応募締切（2022年3月25日（金））までに、必要書類（様式0～2）を教務掛（研究科長宛）に提出すること。次世代およびフェローシップはWEB応募も必要

- ・ 様式0 願書（薬学部用）
- ・ 様式1 申請書
- ・ 様式2 確認書（指導教員が別途提出すること。申請者にはBLIND対応）
- ・ 修士課程の成績（次世代・フェローシップ）

様式0 : 京大薬学研究科HP 経済支援ページよりダウンロード

<https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/graduate-admission/financial-support/>

様式1～2 : 京都大学大学院教育支援機構HPよりダウンロード

<https://www.kugd.k.kyoto-u.ac.jp/program>

次世代・フェローシップの電子申請も、このHPを参照にすること

申請方法（すべて共通）

締切日：**2022年3月25日（金） 17:00**

（学振締め切りは6/2（木））

申請先：**薬学部教務掛（加藤博章研究科長宛）**

申請書類：**次世代・フェローシップ申請書類を用いること**

様式0 願書（薬学部用）

様式1 申請書 各1部

（モノクロ両面印刷、クリップでとめること。ホチキス不可）

様式2 確認書（主任教員から別途提出）

学生支援機構免除内定希望者には2月頃に、D1での研究成果書類の提出を求めます。

支給期間（各奨学金により違いはあるので注意）

- ・ 標準修業年限（博士後期：最長3年、博士：最長4年）もしくは1年
- ・ 受給継続には、前年の学術振興会特別研究員に応募すること。
応募しなかった場合、支給停止
- ・ 1年受給者の場合、次年度も応募できる。

支給停止・取消（各奨学金により違いはあるので注意）

- ✓ 受給者からの辞退届を受理したとき
- ✓ 他の給付型奨学金（藤多・沢井は120万円超/年）を受給開始されたとき
- ✓ 奨学金に係る書類に虚偽の記載をしたとき
- ✓ 休学又は退学したとき、除籍されたとき
- ✓ 早期修了したとき
- ✓ 就職の内定を得たとき（課程修了を前提としない場合に限る）
- ✓ その他、指導教員が受給不適格とみなした場合

学位取得しないときは、奨学金の返還を求められます。

これらの経済支援を受けるには、

日々の研究の積み重ねが大変重要です。

**また、目先の小さな成果を目指すのではなく、
大きな研究目標を立てること、それを確実に
推進するための研究計画も重要です。**

- 研究成果を学会発表や学術論文・特許として公表できるよう、指導教員等と話し合いながら研究計画と進捗状況の管理をしましょう。
- 奨学金ごとの申請時期や応募方法を事前に把握しましょう。

その他の情報

京都大学薬学研究科：博士・博士後期課程への経済的支援

<https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/graduate-admission/financial-support/>

京都大学：さまざまな奨学金

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/syogaku/syogakum>

奨学金NET

<https://xn--kus49bd41h.net/archives/67540341.html>

学振の申請書の書き方

<https://kenyu-life.com/2018/09/25/gakushin-2/>

<https://www.slideshare.net/tonets/gakushin2022>

**京都大学薬学研究科では、主体的に
研究展開できる博士学生を中心に、
薬学を先導する研究の推進に意欲を
持つ者、それをやり遂げる力を持つ
者を応援しています。**